

あさまる通信

プレゼントは裏面にあります!!

ASA



八坂神社祭礼「天王様」と須佐之男命

「天王様」の季節がやってきました。今年は7月11日(日)に津田沼地区の八坂神社で行われます。伝承によると「八坂神社」は「牛頭天王宮」と呼び、日の神「天照大神」の弟である「須佐之男命」を祭神としています。

須佐之男命の名前の須佐は進む、荒ぶなどのスサで、荒々しい振る舞いをする話が多い為に付けられた神名と思われま。もともとは悪神の気質が強く、天照大神から高天原の統治を任されたにも関わらず成し遂げなかった事と、気が荒く乱暴者だという事で高天原から追い出され出雲へ下りました。そこで一転して善神として描かれるようになり、有名な「八岐の大蛇」の話が浮上ります。大蛇を退治した須佐之男命は櫛名田比売を妻とし、



助力を得て最後は国土経営を担い繁栄と秩序への布石をなしています。この悪神から善神への転化については、須佐之男命はその神性が荒ぶる神性から疫病を祓う威力を発揮するととらえられ、悪性の禊ぎ払いがあ

がなわれたことにより汚れが除かれ善神になったという説があります。人々を悪厄から守り秩序ある状態に導く善神として意識されたからでしょう。このように善悪を超えて彼岸に到達したわが国最初の英雄神でもあり、日本神話の中で一番個性的で魅力的な神であるといえます。現に「祇園さん」「天王さま」「天王さん」と呼ばれて親しく信仰されています。

八坂神社は津田沼の各地区の人々から家内安全・商売繁盛の守護神としてお祭りしたと言われていています。現在は、この伝承を守り久々田本郷地区の世話人により祀られています。

津田沼地区の街づくりの一環として、また益々の発展を願う祭りとして行われる天王様祭礼に、一人でも多くの人に参加して頂きたいですね。



参加した子供達は18名 みんな元気な小学生です。袖ヶ浦公民館の調理室で遠藤館長から「火を使います。火傷やケガに気をつけて下さい。」と挨拶があり、講師の千葉県キャンパ協会の三代川誠治さんから「野外活動の作業として今日は食べる事を体験しましょう。」と楽しみな言葉を頂きました。

今回の食材はまる一匹使った鶏のまる焼きです。鍋はアウトドアでは定番のダッチオーブンです。これはオランダから開拓時代に持ち込んだ鍋で、鉄製で熱伝導率が低く色々な用途があり、重い鍋とフタが特徴です。アメリカのカウボーイ達が使っていたと説明がありました。現在では本格的にアウトドア調理をする道具として重宝されています。続いて材料の説明です。いつも目にするスーパーで売っているような部位に分かれていない、鶏の形をした肉を見た子供達は「気持ち悪い!」と最初は抵抗があったようです。



3つの班に分かれて調理開始です。鶏肉の下準備は男の子の班の担当になりました。女の子だけのグループは気持ち悪くて鶏肉に触れませんが、もっぱら野菜を切るのが専門です。野菜は鶏肉のお腹に詰められるように1.5cm各に切ります。下準備が終わると低学年の子供が手持ち無沙汰です。先生がジャガイモの調理を手伝うように指示すると、鍋の底にひく皮付きのジャガイモまでどんどん切ってしまう、先生が「そんなに剥かなくていいよ」と苦笑する場面もありました。

切った野菜は鶏肉のお腹に詰め、竹串で口を塞ぎます。さあダッチオーブンの登場です。底に皮のついたジャガイモを敷き詰め、鶏肉を置きフレンチドレッシングをかけてフタをします。ここからは野外の作業です。炭をおこして火力をつけます。団扇で風を起こしたり、竹でフッと吹いたり、なかなか火が起きませんでした。そしてダッチオーブンの上と下に炭を置き1時間ほどで完成です。アルミで包んだサツマイモも一緒に焼きました。焼いている間に時間が出来たので、子供達はそれぞれ遊びに行ったり、読書をしたりしていました。熱心に火の番をしていた上級生に、三代川さんは「火」についてお話をされたりしていました。出来る頃には、周りにいい匂いが漂ってきました。匂いに誘われ子供達がコンロに集まってきました。いよいよフタを開けると、いい色に焦げ目のついた美味しそうな鶏の丸焼きの完成です。野菜と肉汁だけで煮あがった美味しいスープも付いています。

記念日新聞
の販売を始めました!!
人生の大事な節目の思い出に
結婚式のプレゼントなど
記念日のお祝いにとぞ!!
明治21年7月10日
東京朝日新聞の
創刊時から現在までの
約116年間をピックアップ
ご指定日の朝日新聞
第一面をプリントして
お届けします!!
1部×¥500
(A3版モノクロ印刷+ラミネート加工)
詳しくは、習志野販売(株)まで
お問い合わせ下さい。

●習志野きらっと2004 谷津ローズサンパ隊
参加者募集
熱く燃えるサンパの季節がやってきました。
一緒に踊ってみませんか!
●市民まつりサンパパレード 8月1日(日)
●練習日程: 6/29(火) 18:30~20:00
7/4(日) 14:00~15:30
7/13(火) 18:30~20:00
7/18(日) 14:00~15:30
7/25(日) 午前中(合同練習)
7/30(金) 18:30~20:00

あさまるinfo
練習会場: 谷津公民館(7/25のみ市役所前体育館)
問合先: 谷津公民館 電話 452 - 1509
●第26回菊田子どもまつり
場所: 菊田公民館
前夜祭: 7月3日(土) 15:00~20:00
内容: オープニング、お化け屋敷、わたあめ、ザリガニつり、金魚すくい、屋台など
本祭: 7月4日(日) 10:00~14:00
内容: おもちゃ病院、けん玉、スライムつくり、影絵劇、押し花しおり作り、お化

け屋敷、ラムネ、くじ、屋台他。
市制50周年を記念して「菊田子どもまつり」を題材にしたポスター展を今回主催しました。7/4には、表彰式もあります。
●谷津サンプラザ商店街(協)谷津納涼風物祭
日時: 7月3日(土)・4日(日)
午後5時~午後9時
場所: 京成線谷津駅北口前広場
内容: 地域の方々の芸能、谷津小学校3年生地域勉強バザー、模擬店多数出店(約30店) 夏の風物詩あさがお・ほうずき他。